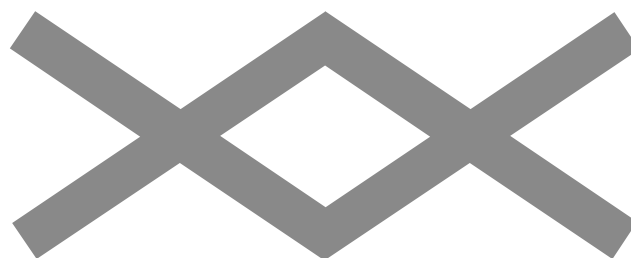


取扱説明書



nexxion®

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は大切に保管しておいてください。弊社サポートセンターにお問い合わせの際には製品背面のラベルに記載されております製品型番とシリアル番号をお確かめください。

品名: 10.1インチ フルセグ ポータブルDVDプレーヤー

型番: FV-P101FW

目次 (詳細)

安全上のご注意	P4
安全・使用上のご注意	P5
使用上のご注意	P6-P7
はじめに	DVDについて	P8
	ディスクの取り扱いについて	P9
	セット内容	P10
	各部の名称	P11
ご使用方法	電源の接続	P12
	外部機器との接続	P13
	充電について	P14
	リモコン電池の交換方法	P15
	リモコン各部の名称・使用方法	P16-P17
	DVDの視聴	P18-P20
	CDの再生	P21
	外部メディアを使う	P22-P29
故障かも・・・と思ったら	機能設定	P30-P32
	デジタル放送の視聴	P33-P41
	トラブルシューティング	P42-P43
	トラブルシューティング(補足)	P44
アフターサービス	アフターサービス	P45
製品仕様	製品仕様	P46

はじめに


本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、安全に使用していただくために本取扱説明書を必ずお読みください。
ご理解いただかずに万が一、損害を被られた場合、当社では一切の責任を負いかねます。

必ず最初にお読みください

ご使用の前にこの「安全上のご注意」を必ずよくお読みいただき、製品を安全に正しくご使用ください。

この取扱説明書および製品には、お客様や他の人々への危害または財産への損害を未然に防止し、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。

表示と図記号は次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 **警告** この絵表示は人が死亡または重症を負うおそれがある内容を表示しています。

 **注意** この絵表示は人がけがをしたり財産に損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。




この記号はやってはいけないことを表しています。





この記号はやらなければいけないことを表しています。




異常や故障のおそれがあるとき

 煙やにおい、音などの異常が発生したら、ただちに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。お買い上げ店またはネクシオン サポートセンターまでご連絡ください。


 内部に水や異物が入ったときは、ただちに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

 電源コードや電源プラグが損傷したり、発熱したりしたときは、ただちに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げ店またはネクシオン サポートセンターまでご連絡ください。


 キャビネットや液晶パネルを落としたり、ぶつけたりして破損したときは、ただちに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。本体を破損したまま取り扱っていると、けがのおそれがあります。お買い上げ店またはネクシオン サポートセンターまでご連絡ください。

設置するとき

 ぐらつく台、傾いた台など不安定な場所に置かないでください。落下、転倒により、けがの原因となります。

 風呂場やシャワー室、キッチンやサウナなど水気がある場所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。









 上に物を置かないでください。落下により、けがの原因となります。液体が入った場合、火災、感電の原因となります。

 付属の専用ACアダプターを使用してください。電源プラグは先に本機に接続してから交流100Vのコンセントに接続します。接続順を逆にしたり、付属品以外を使用したり、また交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。専用カーアダプターはDC12Vマイナスアース車専用です。

必ず最初にお読みください






 警告

ご使用になるとき

-  修理・改造・分解をしないでください。火災・感電の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。
-  ディスクトレイなどから異物を入れしないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
-  電源コードの上に重いものや本機を乗せないでください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
-  電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱しないでください。
電源コードが損傷した場合は新しいものと交換してください。
-  電源コードを熱器具に近づけないでください。
ビニールの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。
-  電源コードを抜く際には、電源コードを引っ張らないでください。
電源コードが損傷し、火災・感電の原因となります。
-  雷が鳴り出したら、本機や電源コードに触れないでください。
感電の原因となります。
-  電源プラグの付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜き、乾いた布で取り除いてください。
火災・感電の原因となります。

 注意















設置するとき

-  通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部の熱が逃げなくなり火災の原因となることがあります。
-  湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かないでください。
調理器具や加湿器などのそばに置くと火災・感電の原因となることがあります。
-  温度の高い場所に置かないでください。直射日光の当たる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。
-  風通しの悪い場所に置かないでください。内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
 - ・壁に押しつけないでください。
 - ・押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
 - ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
 - ・じゅうたんやふとんの上に置かないでください。
 - ・あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。
-  移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線を外してください。電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などを外さずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

必ず最初にお読みください

注意

使用するとき

-  落したり、キャビネットを破損した時は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電感電の原因となります。
-  タコ足配線をしないでください。火災、感電の原因になることがあります。
-  電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しないでください。不完全な接続は発熱して火災の原因となります。
-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
-  お手入れするときや長時間使用しないときは電源プラグを抜いてください。火災、感電の原因になることがあります。
-  ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。
-  ディスクトレイに、手を入れしないでください。指をはさみ、けがの原因になることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
-  液晶画面をたたくなどの衝撃を与えないでください。液晶パネルが割れて、火災、感電の原因になることがあります。
-  リモコンには指定以外の電池や新しい電池を古い電池と混ぜて使わないでください。火の中に入れてたりしないでください。電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った電池をリモコンに入れたまま放置しないでください。破裂や液漏れにより、火災、感電、怪我の原因になることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療を受けてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。
-  電源を入れる前には本体及び接続機器の音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。
-  殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
-  本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。
-  長時間使用しないときは必ずディスクを取り出し、電源スイッチを切り、電気プラグをコンセントから抜いておいてください。また、機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。
-  リモコンに電池を入れるときは極性(プラスマイナス)の向きに注意してください。破裂したり液漏れにより、火災、感電の原因になることがあります。
-  電源プラグはコンセントに根元まで確実に接続してください。接続が不完全ですと発熱やほこりが付着して火災、感電の原因になることがあります。また、電源プラグに触れると感電することがあります。

お読みください

知っておいていただきたいこと

本体が熱くなる場合があります

長時間使用すると、熱を逃がすために本体が熱くなる場合があります。ご注意ください。

国外では使用できません

この製品が使用できるのは日本国内だけです。国外では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

ご使用になる部屋(場所)の温度が低温の場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが故障ではありません。常温に戻れば回復します。

低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因になります。

(保存温度：-20℃～60℃ / 使用温度：0℃～40℃)

電磁波妨害にご注意ください

製品の近くで携帯電話、テレビ、ラジオなどの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生することがあります。

画面の焼き付きについて

静止画など長時間同じ画面を表示し続けたり、16:9の映像を画面比率4:3で長時間ご覧になったりすると、液晶パネルに焼き付きが生じることがありますのでご注意ください。視聴時にはフルスクリーンでのご視聴をお勧めします。

液晶パネルのドット欠けについて

液晶モニターは製造過程において画素にいくつかの欠けが出ることがあります。液晶パネル上に黒点(点灯しない点)または白点(点灯したままの点)などのドット欠けが見られる場合がありますが、これは液晶パネルの製造上、回避できない現象であり欠陥品ではございません。このようなドット欠けにつきましては返品や修理の対象外となりますのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

キャビネットや操作パネル)部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

よごれがひどいときは、布を水でうすめた 中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

結露(露付き)について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。"結露"はこんなときおきます。

- ・ 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- ・ 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
- ・ 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の 高いところに移動して使用したとき
- ・ 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、2~3 時間で水滴がとれます。またコンセントに接続しておくと"結露(露付き)"が生じにくくなります。

その他

- ・ 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。
- ・ ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
- ・ 本機は水平な場所で設置・使用してください。

DVDについて

ディスクの取扱いと用語

再生できるディスク

■本機では、下記のディスクを再生することができます。

メディア	記録内容	記録内容
DVDディスク	映像(動画)+音声	12cm
音楽用CD	音 声	12cm

以下のメディアも再生することができます。

- DVDビデオフォーマットのDVD-R / DVD-RW
- CPRM / VR モードで地デジ放送を録画し、且つファイナライズ処理されたDVD-R / DVD-RW
- ビデオモードでアナログ放送を録画し、且つファイナライズ処理されたDVD-R / DVD-RW
- CD-DA フォーマット(音楽用CD)のCD-R / CD-RW
- MP3、WMA または JPEG 形式のファイルが記録されたCD-R / CD-RW

※上記のディスクであっても、録画されたDVDレコーダーとディスクと本機との相性により再生できない場合もありますので、予めご了承ください。

※パソコンにて録画されたディスク、DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスク、短い収録時間のディスクでは再生できない場合がありますので、予めご了承ください。

※H.264 / MPEG4(AVC形式)のファイルは非対応です。

※本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式(PAL、SECAM)表示のディスクには使用できません。

※DVD土R DLには対応していません。また、MP3等のデータは状況により再生できない場合があります。ファイナライズ未処理のディスクは再生できませんので、ご注意ください。

■CPRMについて

CPRMとはContent Protection for Recordable Mediaの略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。デジタル放送をディスクにダビングし再生するには、CPRM対応のディスクと再生機器が必要になります。

■ファイナライズについて

ファイナライズとは、映像をダビングしたディスクと再生機器の互換性を高めるための処理のことです。例えば、映像をダビングしたディスクを再生する場合、そのディスクにダビングをした機器(DVDレコーダー等)では再生が可能なのに、同じディスクを他の機器で再生しようとするとうディスクエラーとなる場合があります。これは、ダビングを行った機器ではディスクにデータが記録されている場所が認識できるが、それ以外の機器ではデータの場所が分からないために起こる現象です。このような事態を避け、そのディスクに記録したデータを他の機器でも再生可能なデータ配列にするためにファイナライズという処理が必要になります。

ディスクの取扱いについて

ディスクに関する用語について

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

タイトル：DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

トラック：音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

ディスクの取り扱いかた



再生面には手を触れないでください。



ディスクに紙やシールを貼らないでください。



ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

よこれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。



※初めてご使用になる際は、ディスクトレイ内に入っている保護カバーを外してからご使用下さい。

ディスクの保管のしかた

直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。

※浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。

※ディスクは必ず専用のケースに入れて保管してください。

専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

付属品

 **セット内容をご確認ください。**

本製品をお取り扱いになる前に、以下のものが全てそろっているか確認してください。万が一、不足しているものや破損しているものがある場合はお買い上げ店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

プレーヤー本体



ACアダプター



リモコン(RM-3V7)



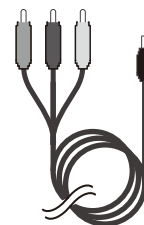
車載用バッグ



12V車専用カーアダプター



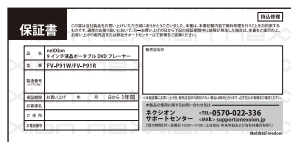
AVケーブル



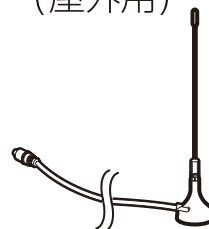
取扱説明書



保証書



ワンセグ用TVアンテナ(屋外用)



mini B-CASカード



※注

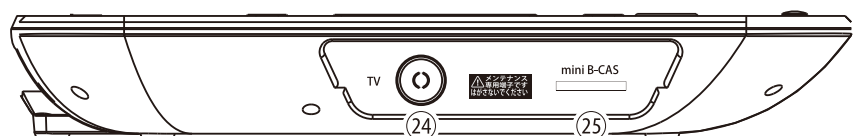
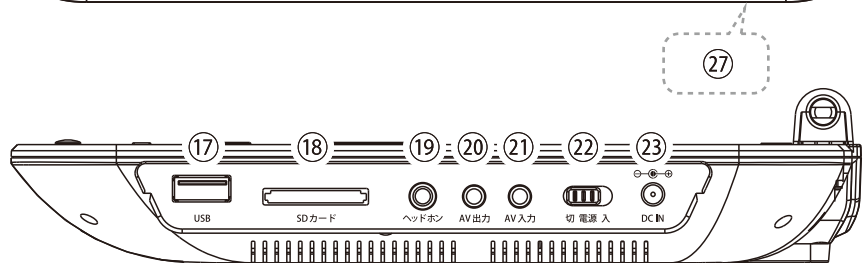
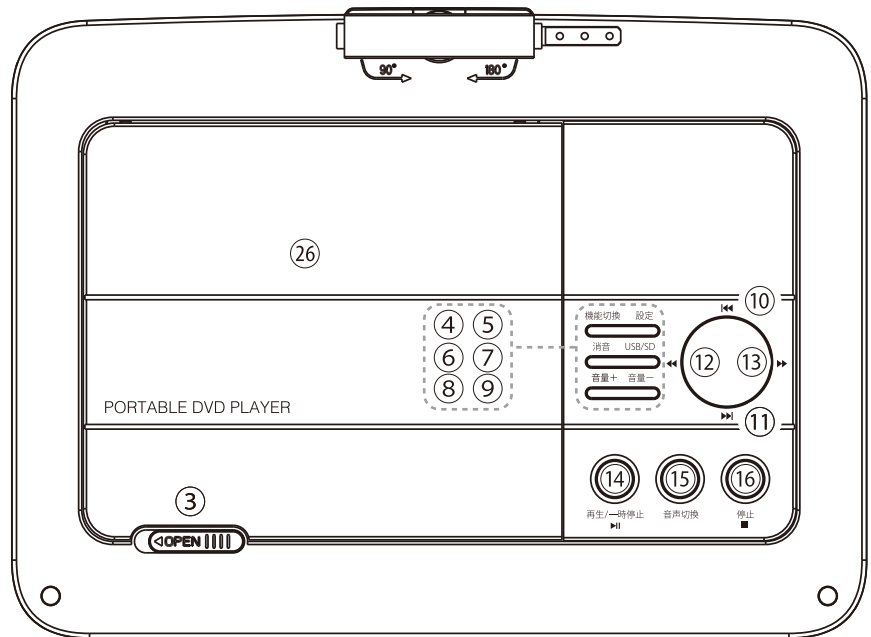
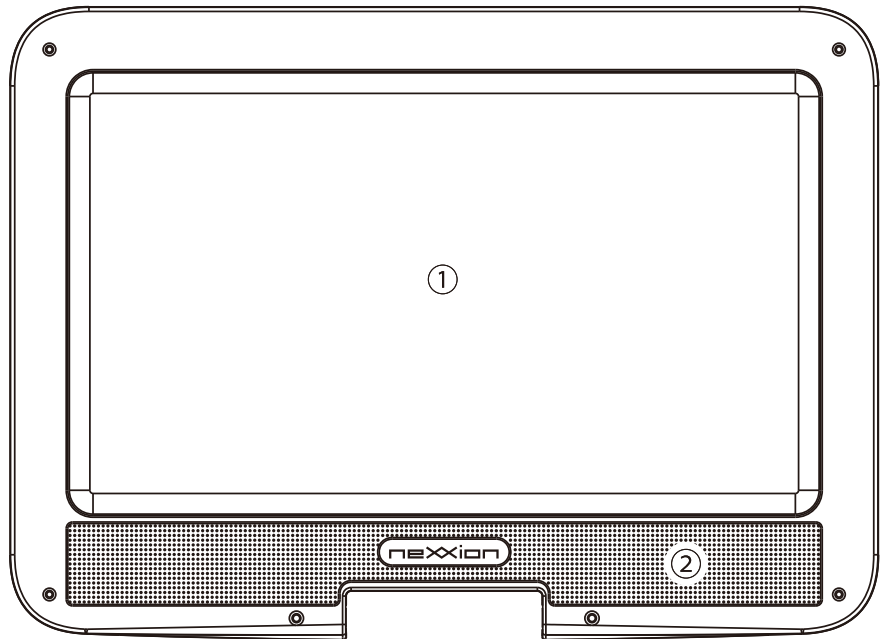
- ※BS・CS・地上共用のmini B-CASカードが付属されている場合でも、BS・CS放送は受信できません。
- ※画像は実物と異なる場合があります。
- ※本製品に付属のアンテナは屋外用の簡易アンテナです。室内でテレビをご視聴される場合は、家庭用アンテナと接続の上、ご視聴することをお勧めいたします。
- ※同梱されているリモコン用の電池はテスト用です。早めに新品と交換してください。
- ※特に初回起動時はスキャンの失敗やチャンネルの登録漏れを防ぐ為、家庭用アンテナや受信感度の強い室内用アンテナと接続してください。

■カーアダプターについてのご注意点

- ※カーアダプターをご使用になる時はエンジンをかけてから接続してください。
- ※カーアダプターをご使用になる時は安全な場所に車を停めてからご使用ください。
- ※カーアダプターをご使用になる時はきちんと奥まで差しこまれているかご確認ください。
- ※本製品はDC12V バッテリー使用の自動車専用です。
- ※マイナスアース車専用です。プラスアース車には使用できません。
- ※自動車のシガレットライターソケットの形式・寸法によっては、本製品を取り付けられないことがあります。

各部の名称

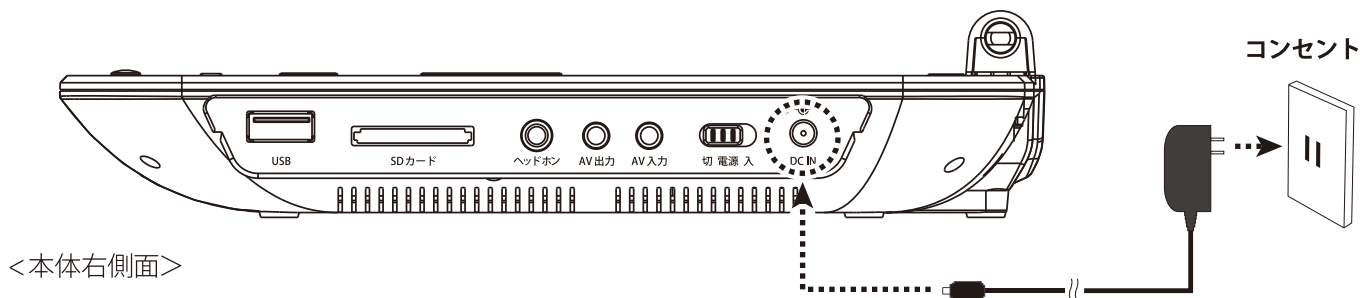
- ① 液晶モニター
- ② スピーカー
- ③ ディスクトレイ OPEN
- ④ 機能切換
- ⑤ 設定
- ⑥ 消音
- ⑦ USB/SD 切換
- ⑧ 音量+
- ⑨ 音量-
- ⑩ 選択 ▲・⏮
- ⑪ 選択 ▼・⏭
- ⑫ 選択 ◀・⏮
- ⑬ 選択 ▶・⏭
- ⑭ 再生 / 一時停止・OK (決定)
- ⑮ 音声切換
- ⑯ 停止
- ⑰ USB ポート
- ⑱ SD カードスロット
- ⑲ ヘッドホン端子
- ⑳ AV 出力端子
- ㉑ AV 入力端子
- ㉒ 電源スイッチ
- ㉓ 電源端子
- ㉔ アンテナ入力端子
- ㉕ mini-B-CAS カード挿入口
- ㉖ ディスクトレイ
- ㉗ リモコン受光部 / 充電ランプ



電源の接続

ACアダプターの接続

■付属のACアダプターを本体右側の電源端子とコンセントに接続します。

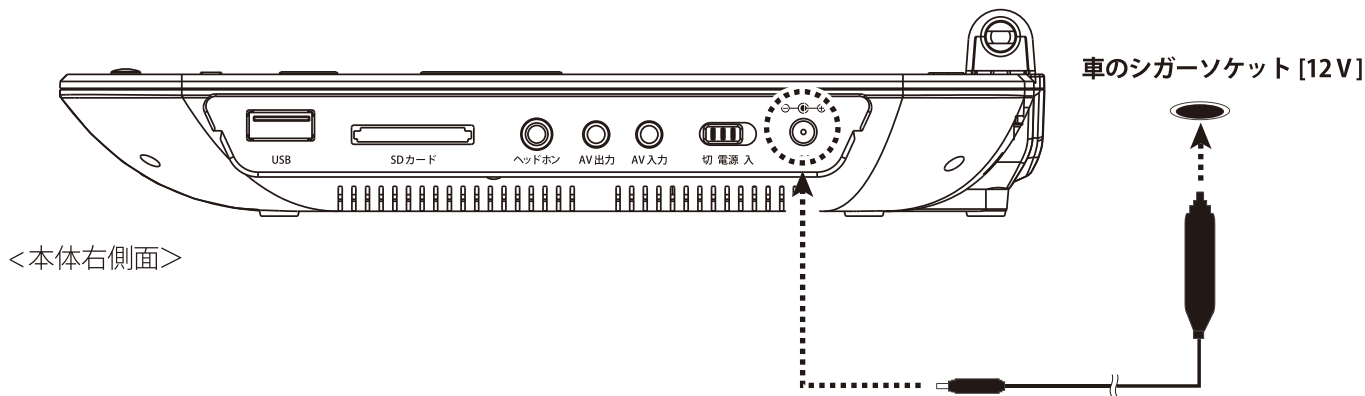


<本体右側面>

- ※電源スイッチが切になっていることを確認してください。
- ※ACアダプターは必ず付属のものをお使いください。

車用シガーライターアダプター (付属) の接続

■付属の車用シガーライターアダプターを本体右側の電源端子と車のシガーソケットに接続します。



<本体右側面>

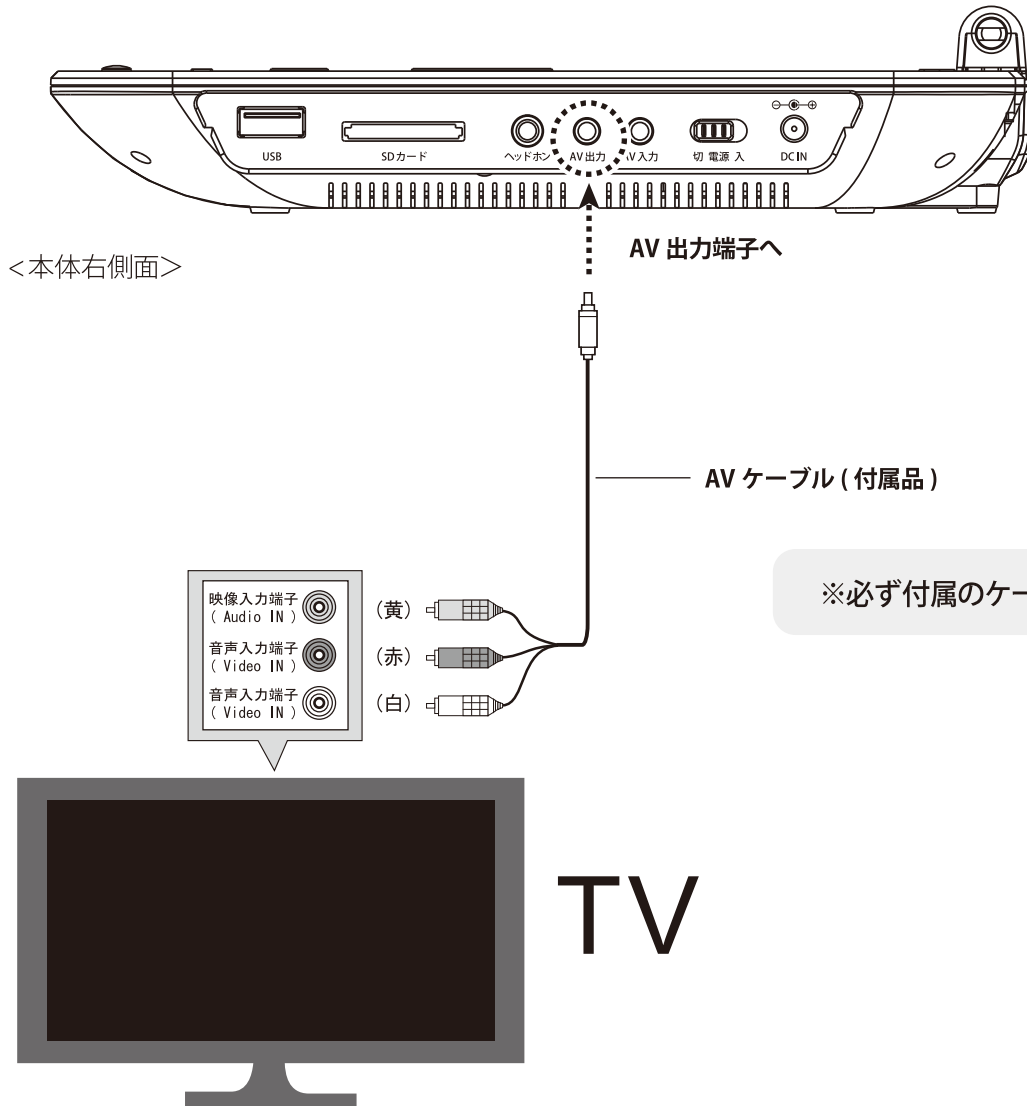
- ※車用シガーライターアダプターを使っでの充電はおやめください。
- ※車用シガーライターアダプターは [12V] 車でのみお使いいただけます。その他の車では絶対に使用しないでください。
- ※車のエンジンをかける前に接続するのはおやめください。故障の原因になります。

外部機器との接続

外部モニターへの接続

■外部モニター(テレビ)との接続

本機で再生した映像を、外部のテレビ画面で視聴することができます。
 本体右側の AV 出力端子とテレビの入力端子を AV ケーブルで接続してください。
 テレビ側の設定に関しては、お使いのテレビの取扱説明書をご参照ください。



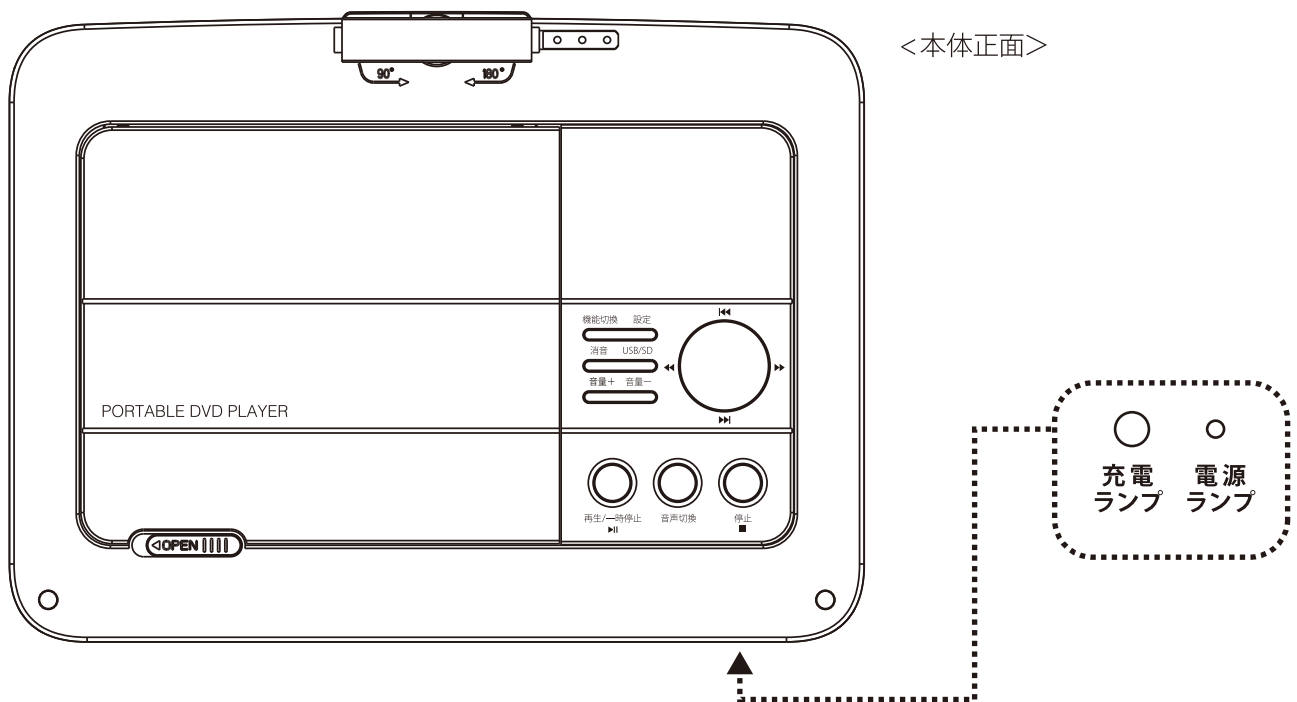
※必ず付属のケーブルを使ってください。

※AV出力に接続した場合、プレーヤー本体からも音声が出ます。
 本体の音量調整によってテレビ側の音声も変化します。

充電について

- 本機には充電電池が内蔵されており、充電済みであれば電源がない場所でも使用することができます。電源切時に空の状態から充電を開始した場合、約4時間でフル充電になります。DVDは約4時間の視聴（音量最小時）が可能です。

※音量を最大にする等、条件によっては上記時間より短くなることがあります。
※電源が入になっている状態で充電しますと、フル充電まで上記時間よりも長くなります。



充電方法

1. 電源ボタンを切にした状態で、付属のACアダプターを本体右側の電源端子とコンセントに接続します。（電源ボタンが入になっていると電源切時よりもフル充電まで時間がかかります。）
2. 充電中は本体前面の充電ランプが赤色に点灯します。このランプの点灯が緑色に変わると充電完了です。

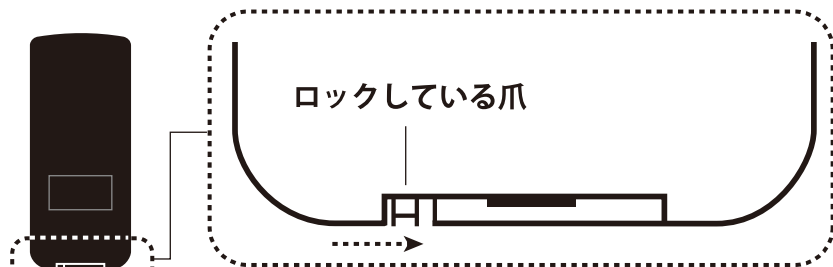
充電と再生時間

- ※充電電池はフル充電するたびに充電電池自体の充電最大容量が少しずつ少なくなっていくます。
- 充電後の再生時間は、お客様の充電環境と再生回数・再生方法に依存します事をご了承下さい。
- ※充電電池の容量が全て無くなってから次のフル充電をする事で、充電電池の寿命を長持ちできます。
- ※本機は内蔵式充電電池ですので、ご自身での充電電池交換（解体等）は絶対にしないで下さい。

リモコンの電池の交換

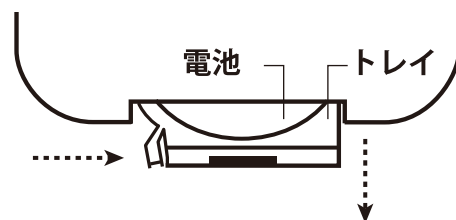
交換方法

1. 電池のトレイのロックを解除します。



① ロックしている爪を右側に寄せます。

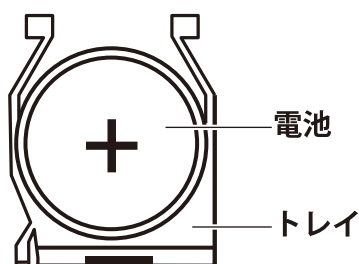
2. 電池のトレイを引き出します。



② 爪を右側に寄せ (押し) たまま電池のトレイを引き出します。

※爪が折れたり、傷つかないようにしてください。

3. 引き出したトレイの上にある古い電池をはずし、新しいCR2025電池を「+、-」に注意して入れてください。



※電池の十面がリモコンの背面側にくるようにしてください。

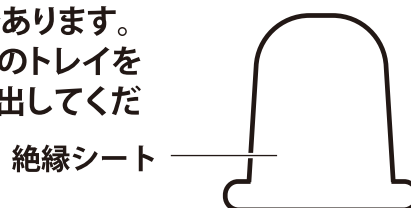
4. 電池がきちんとセットされているかご確認ください。

5. リモコンにトレイの向きに注意して差し込んでください。

※カチッとロックされるまで差し込んでください。

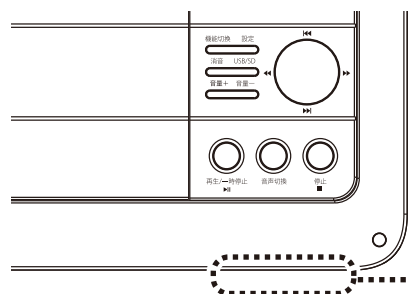
はじめて使用する時

■ 出荷段階では電池のトレイに透明の絶縁シートがはさんであります。上記の『1. 電池のトレイのロックを解除します。』～『2. 電池のトレイを引き出します。』の要領でトレイと一緒に絶縁シートを引き出してください。



使用方法

■ リモコン使用時はリモコン赤外線発射口を機器フロントパネルの受光部へ向けてください。受信角度は $\pm 30^\circ$ 距離は4メートル以内です。



※フロントパネルの赤外線受光部に太陽光や強い光をあてないでください。正常に動作しない場合があります。

リモコン各部の名称／使用方法

① **機能切換ボタン**

DVD/TV/AV の切換を行います

② **USB/SD・サーチボタン**

USB,SD の入力切換および
TV チャンネル詮索をする際に使用します

③ **液晶画面オン/オフボタン**

液晶画面をオンまたは消す時に使用します
(音声は消えません)

④ **画面サイズボタン**

画面表示を 16:9 と 4:3 に切換える時に
使用します
※TV モード時は使用できません
(音声は消えません)

⑤ **数字ボタン**

場面や曲の番号を直接入力する場合に使用
します

⑥ **音声切換ボタン**

音声を切換える時に使用します

⑦ **字幕・録音ボタン**

字幕を切換える時に使用します
CD から録音する際に使用します

⑧ **アングルボタン**

ディスク再生中、映像のアングルを切換える
時に使用します (対応ソフトのみ)

⑨ **プログラムボタン**

プログラム再生の設定時に使用します
TV モード時にテレビの番組表を表示します

⑩ **ズームボタン**

ズームの倍率を変更します

⑪ **音量+ ボタン**

音量を大きくする時に使用します

⑫ **音量- ボタン**

音量を小さくする時に使用します

⑬ **消音ボタン**

音声を消す時に使用します

⑭ **設定ボタン**

DVD/AV モード時：設定画面を表示します／TV モード時：受信波の情報を表示します

⑮ **表示ボタン**

DVD 再生時に DVD の情報を表示します
TV 受信時は番組情報を表示します



⑩ メニューボタン

ディスク再生中に押すと DVD のメニュー画面に戻ります
TV モード時には TV モード設定メニューを表示します

⑪ タイトルボタン

DVD のタイトルを表示する時に使用します

⑫ 選択 / チャンネル  ボタン

方向上を選択 / CH + する時に使用します

⑬ 選択  ボタン

方向左を選択する時に使用します

⑭ 決定  (OK) ボタン

各種設定や選択項目を実行します

⑮ 選択  ボタン

方向右を選択する時に使用します

⑯ 選択 / チャンネル  ボタン

方向下を選択 / CH - する時に使用します

⑰  ボタン

ディスクの再生中に押すと早戻しします

⑱  ボタン

ディスクの再生中に押すと早送りします

⑲  停止 / 戻るボタン

再生を停止する時に使用します / TV モード時に操作を 1 段階戻る時に使用します

⑳  再生 / 一時停止ボタン

再生中に押すと一時停止します / もう一度押すと再生を再開します

㉑  ボタン

ディスク再生中に押すと前のチャプターに移動します

㉒  ボタン

ディスク再生中に押すと次のチャプターに移動します

㉓ スローボタン

ディスク再生中、スロー再生をする時に使用します

㉔ リピートボタン

ディスクをリピート再生する時に使用します

DVDの視聴

再生方法

1. 電源を入れる

本体に電源を接続し、電源スイッチを『入』にしてください。

2. ディスクを入れる

本体のOPEN ボタンを押してディスクカバーを開け、ディスクのラベル面を上にして、ディスクをセットし、ディスクカバーを閉じます。

※ディスクカバーの開閉は特に丁寧にお取り扱いください。故障の原因となります。

3. 再生の開始

カバーを閉じると自動で再生がはじまります。はじまらない場合はタイトル等を選択し、リモコンまたは本体の再生／一時停止ボタン ▶|| を押してください。

4. 一時停止

再生中にリモコンまたは本体の再生／一時停止ボタン ▶|| を押すと、再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

5. 停止

再生中に停止ボタン ■ を押すと仮停止し、画面に「再生キーを押し、継続」と表示されます。この状態でリモコンまたは本体の再生／一時停止ボタン ▶|| を押すと停止した場面の続きから再生が始まり、もう一度停止ボタン ■ を押すと、完全に再生が停止されます。

6. 音量の調節

再生中、リモコンまたは本体の音量+ボタンを押すと音量が大きく、音量—ボタンを押すと音量が小さくなります。

7. 場面のスキップ

再生中にリモコンまたは本体のスキップ次ボタン ▶▶|| またはスキップ前ボタン ◀◀ を押すと、1つ次または前のチャプターに移動します。

※ディスク自体にチャプターの編集がされていない場合は機能しません。

個人で作成されたディスクや海外のディスク等はディスクによっては時間がかかったり読み込み時に音がしたりします。

デジタル放送を録画・ダビングしたディスクの場合 CPRM 対応ディスクで VR モードで書き込み最後にファイナライズ処理をしたものでないと認識しません。

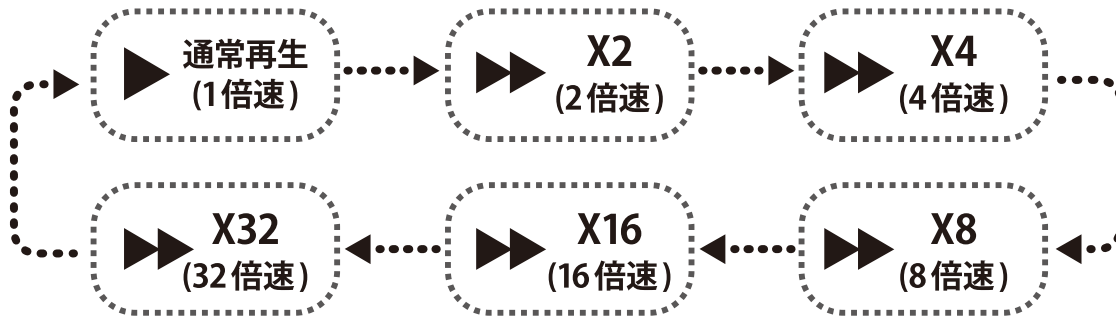
ディスクの種類や相性によっては再生できない場合があります。

すべてのディスクの再生を保証するものではありません。

DVDの視聴

8. 早送り・早戻し

再生中にリモコンまたは本体の早送りボタン **▶▶** または早戻しボタン **◀◀** を押すと、早送りまたは早戻し再生をすることができます。再生速度はボタンを押すごとに変わります。



9. 場面を選択して再生

リモコンのメニューボタンを押すとメニュー画面に入り、DVDの内容が画面に表示され再生するチャプターや字幕などを簡単に選択することができます。

※ディスクによってはメニュー画面がない場合もあります。

その他の操作

10. アンゲルの切替

再生中にリモコンのアンゲルボタンを押すと映像のアンゲルを切替えることができます。ボタンを押す回数によってディスクに記録された異なるアンゲルの映像に切替わります。

切替可能なアンゲルの数と、再生しているアンゲルの番号が画面に表示されます。

※アンゲル切替は、マルチアンゲルで録画されたDVDのみで使用可能な機能です。
マルチアンゲルのディスクかどうかはDVDのジャケットやケースカバーなどをご参照ください。

11. 音声切替

再生中にリモコンの音声ボタンを押すと、音声を切替えることができます。音声ボタンを押すたびに、音声の言語が切替ります。

※ディスクによってはDVDタイトル画面から音声切替を行わなければならないものがあります。

DVDの視聴

12. 字幕切替

再生中にリモコンの字幕ボタンを押すと、字幕を切替えることができます。

字幕ボタンを押すたびに、字幕の言語が切替ります。

切替可能な字幕の数と再生している字幕の番号が画面に表示されます。

※ディスクによっては、DVDのタイトル画面から字幕切替を行わなければならないものもあります。
※字幕データが収録されていないディスクでは、この機能は使えません。

13. ズーム切替

再生中にリモコンのズームボタンを押すと、画面の表示倍率を変えることができます。

ズームボタンを押すたびに、2倍→3倍→4倍→1/2→1/3→1/4→オフ(通常)の順に画面の倍率が変わります。拡大表示中に上下左右の方向ボタンを押すと、画像を動かして表示範囲外になっている部分を見ることができます。

14. リピート再生

再生中にリモコンのリピートボタンを押すと、リピート再生を行うことができます。押す回数によって、チャプターのリピート→タイトルのリピート→ディスク全体のリピート→リピートオフ(通常再生)の順に切り換ります。

15. スロー再生

再生中にリモコンのスローボタンを押すと、スロー再生を行うことができます。スローボタンを押すたびに、▶1/2→▶1/4→▶1/8→▶1/16→◀1/2→◀1/4→◀1/8→◀1/16→通常再生の順で再生速度が切り替わります。

16. 消音

再生中にリモコンの消音ボタンを押すと、音声のみを消すことができます。もう一度消音ボタンを押すと再び音声が出ます。

CDの再生

■本機では音楽CDを再生することもできます。音楽CDをセットしてディスクカバーを閉じると、自動的に再生を開始します。

音楽CDの再生ではDVDの再生と同じボタン操作で以下の操作を行うことができます。

- 再生
- 停止
- 一時停止
- 前後スキップ
- 早送り
- 早戻し
- リピート再生
- 消音

CD再生時の画面表示

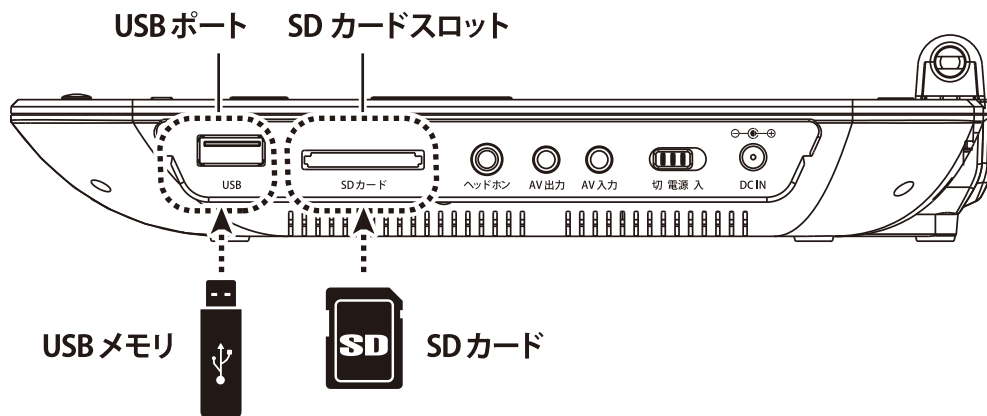
音楽CDの再生中は、トラック（収録曲）の再生時間等の情報が画面に表示されます。表示ボタンを押すたびに、「シングル残り時間」→「トータル経過時間」→「トータル残り時間」→「シングル経過時間」の順に表示が切替ります。

経過時間等 ————= トラック 01/12
 トラック番号 ————= 01 : 20



<再生中の表示画面例>

外部メディアを使う



<本体右側面>

SDカードの接続

SDカードスロットは本体側面の右側にあります。
カードの端子がある面を下にしてSDカードスロットに差し込んでください。

USBメモリーの接続

USBポート(USB入出力端子)は本体側面の右側にあります。
USBメモリーの向きを確認して入出力端子部に差し込んでください。

外部メディアの読み込み

SDカードやUSBメモリーは差し込むだけで自動認識します。

※DVD再生時はUSB/SDボタンを押してください。

読み込み手順

1. 電源切→DVD/CDのディスクを入れない状態でUSBメモリーやSDカードを挿入します。
2. 電源入→DVD画面から「読込中」「ディスク無し」「検索中」の順で文字が表示されます。
3. 少しすると、外部メディア内のフォルダやファイルを認識します。

- ※上記の手順でも認識しない場合、主電源を切にして本機を再起動してください。
- ※再起動後も認識しない場合はメディアとの相性や互換性・その他の問題が考えられます。
違うメーカーなど他のメディアでお試してください。
- ※高画質・高解像度のデータは読み込まない場合があります。
- ※記録された順序で再生されない場合があります。また記録状況により音飛びしたり再生できない場合があります。
- ※映像、画像とも再生時の画像比は16:9で表示されます。

- データの読み込み中や再生中にUSB/SDの出し入れは行わないでください。
- 本機は最大容量8GBまでのUSBメモリーに対応しております。ただし、メーカーや型式によっては読み込まない場合が稀にあります。その場合はパソコン等でメディアを初期化してから再度お試しください。
- 本機の対応ファイル形式はWMA・MP3・JPEGです。
- すべての外部メディアについての動作保証・サポートはしていません。

外部メディアを使う

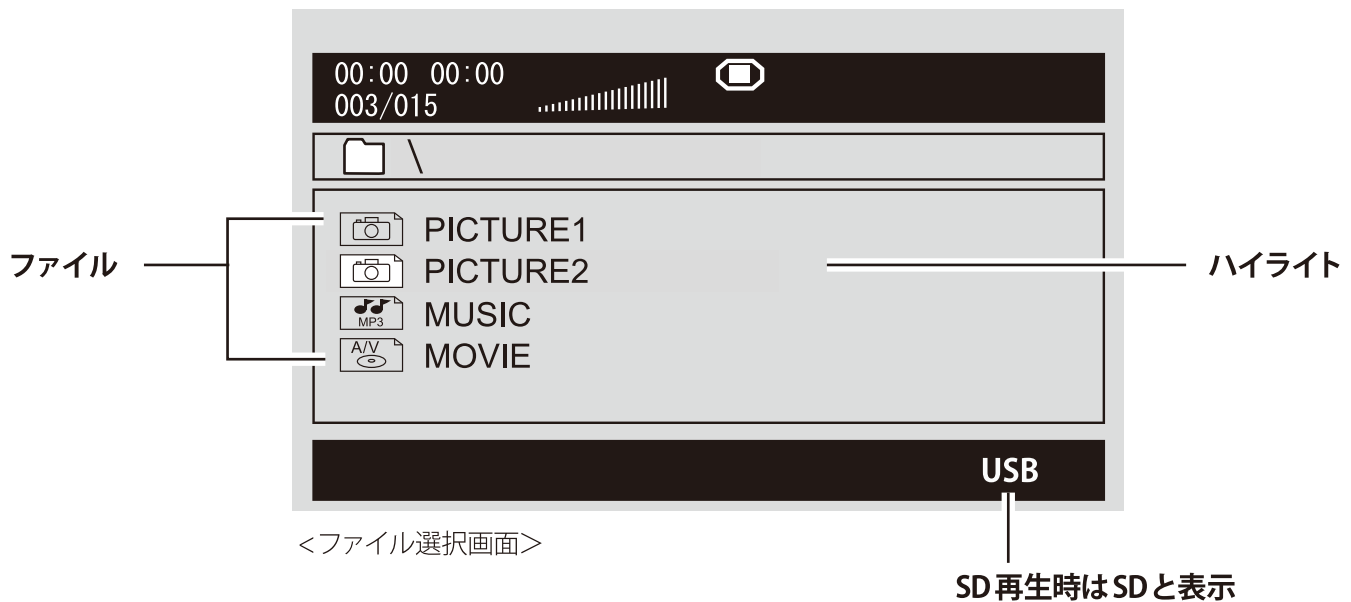
フォルダの操作

各フォルダを選択し『OK』ボタンあるいは『決定』ボタンを押すとフォルダ内のファイル一覧が表示されます。前の画面に戻るにはタイトルのない（タイトル部…表示）フォルダを選択し『OK』ボタンあるいは『決定』ボタンを押します。

ファイルの再生

ファイル選択画面に、メディア内のフォルダやファイルが表示されます。リモコンまたは本体の▲▼ボタンでハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択し、再生/一時停止ボタン▶||を押すと、そのファイルから再生が始まります。

※詳しい再生方法は P26 をご参照ください。

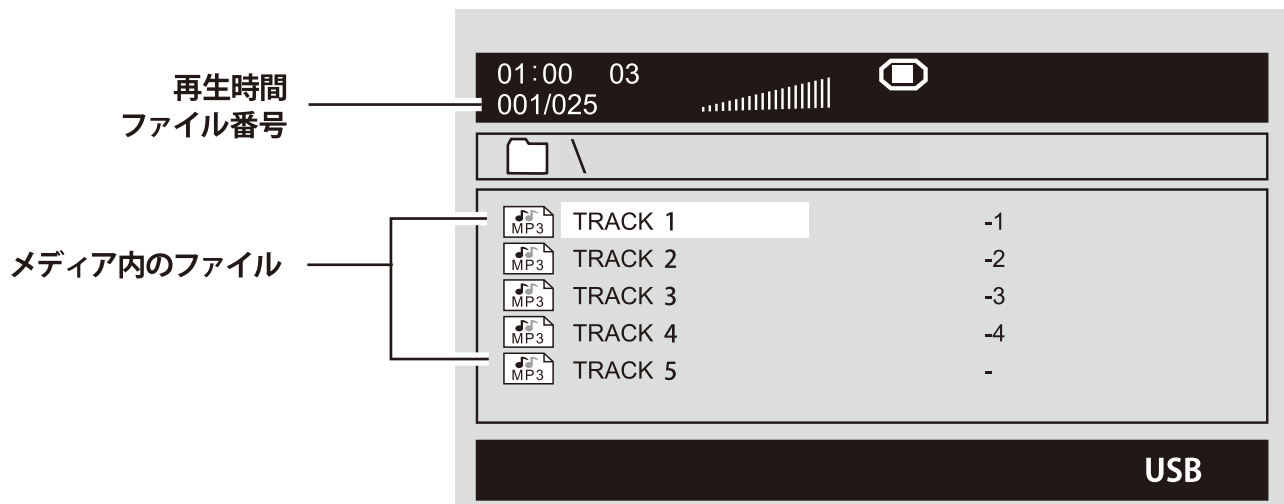


※ファイルの順番は撮影日時や同期やコピーした順にはなりません。予めご了承ください。すべてのファイルやメディアの再生を保証するものではありません。

外部メディアを使う

音楽ファイルの再生

■本機ではMP3形式及びWMA形式のファイルが保存されたメディアを再生することができます。



<ファイル選択画面>

※表示は英数字のみに対応しています。日本語データ等は正しく表示されません。

MP3形式およびWMA形式のファイルが保存されたメディアをプレーヤーにセットすると、上記の画面が表示されます（本機に対応した形式で記録されたディスクのみ使用可能です）。

この画面でメディア上のファイルを選択し、再生する曲を決定します。

※Waveサウンドファイルは認証しません。その他音楽ファイルが再生できない場合については29ページをご参照ください。

操作方法

- リモコンまたは本体の▲▼方向ボタンを押して黄色のハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択します。
- リモコンの決定ボタンまたは本体のOKボタンを押すと選択したファイルが再生されます。
- 再生中に方向ボタン▲▼を押して次に再生したいファイルを選択することもできます。その時、現在再生中のファイルは白いハイライトで示されます。

■ 音楽ファイルの再生中には次の操作を行うことができます。

停止：本体の停止ボタン■またはリモコンの停止ボタン■を押します。

一時停止：本体の再生/一時停止ボタン▶||またはリモコンの再生/一時停止ボタン▶||を押します。

リピート再生：リピートボタンを押します。ボタンを押すごとにリピートの方式が次のように変わります。

シングル再生／選択したファイルを繰り返し再生します。

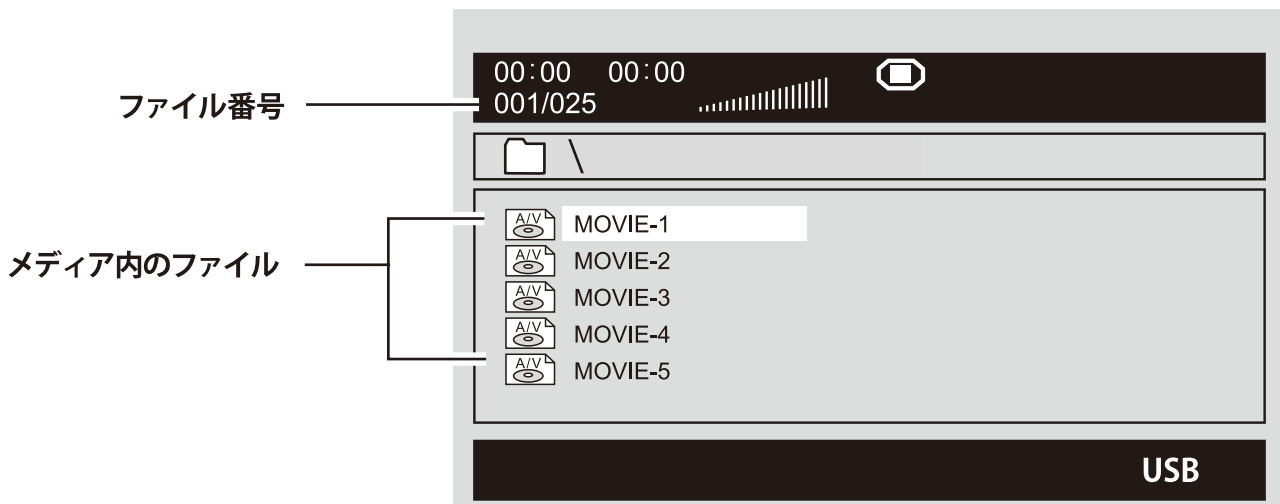
フォルダーリピート／フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。

リピートオフ／通常再生に戻ります。

外部メディアを使う

動画ファイルの再生

■本機ではMPEG形式およびAVI形式のファイルが保存されたメディアを再生することができます。



<ファイル選択画面>

※表示は英数字のみに対応しています。日本語データ等は正しく表示されません。

MPEG2形式 および AVI形式のファイルが保存されたメディアをプレーヤーにセットすると、上記の画面が表示されます（本機に対応した形式で記録されたメディアのみ使用可能です）。この画面でフォルダやファイルを選択し、再生する動画を決定します。（MPEG-4 AVC形式のデータは再生できません。）

この画面でメディア上のファイルを選択し、再生する曲を決定します。

※その他の動画ファイルが再生できない場合については29ページをご参照ください。

操作方法

- リモコンまたは本体の▲▼方向ボタンを押して黄色のハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択します。
- リモコンの決定ボタンまたは再生/一時停止ボタン ▶|| ・本体の再生/一時停止ボタン ▶|| を押すと選択したファイルが再生されます。

※ファイルの保存方法によっては再生中にスキップボタンを押すと、前後のファイルを再生できる場合もあります。

- 再生中に方向ボタン▲▼を押して次に再生したいファイルを選択することもできます。その時、現在再生中のファイルは白いハイライトで示されます。

■ 動画ファイルの再生中には次の操作を行うことができます。

停止：本体の停止ボタン ■ またはリモコンの停止ボタン ■ を押します。

一時停止：本体の再生/一時停止ボタン ▶|| またはリモコンの再生/一時停止ボタン ▶|| を押します。

リピート再生：リピートボタンを押します。ボタンを押すごとにリピートの方式が次のように変わります。

シングル再生/選択したファイルを繰り返し再生します。

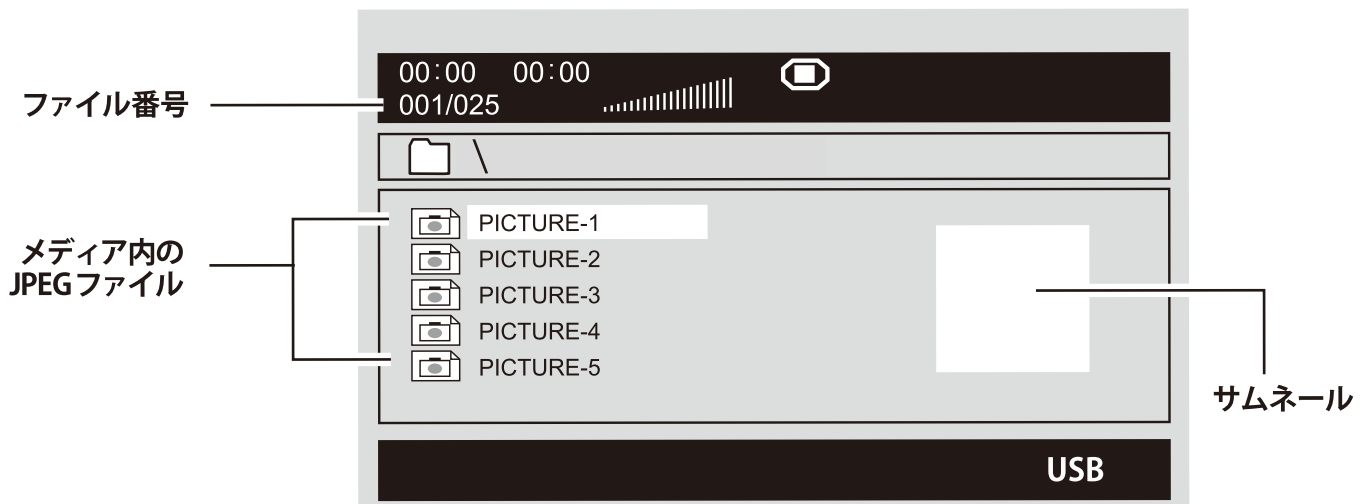
フォルダーリピート/フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。

リピートオフ/通常再生に戻ります。

外部メディアを使う

画像ファイルの再生

■本機ではJPEG形式の画像ファイルが保存されたメディアを再生(スライドショー)することができます。



<ファイル選択画面>

※表示は英数字のみに対応しています。日本語データ等は正しく表示されません。

JPEG形式のファイルが保存されたメディアをプレーヤーにセットすると、上記の画面が表示されます(本機に対応した形式で記録されたメディアのみ使用可能です)。この画面でメディア上のファイルを選択し、表示するファイルを決めます。

※画像ファイルが再生できない場合については29ページをご参照ください。

操作方法

- リモコンまたは本体の▲▼方向ボタンを押して黄色のハイライトを移動させ、表示したいファイルを選択します。右側にサムネール(小さい画像)が表示されます。
- 決定(OK)ボタンまたは再生/一時停止ボタン▶||を押すと選択したファイルが表示されます。

■ JPEG画像の再生中には次の操作を行うことができます。

停止：本体の停止ボタン■またはリモコンの停止ボタン■を押します。

一時停止：本体の再生/一時停止ボタン▶||またはリモコンの再生/一時停止ボタン▶||を押します。

リピート再生：リピートボタンを押します。ボタンを押すごとにリピートの方式が次のように変わります。

シングル再生／選択したファイルを繰り返し再生します。

フォルダーリピート／フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。

リピートオフ／通常再生に戻ります。

外部メディアを使う

画像ファイルのスライドショー再生

- 画像の回転……スライドショーの最中にリモコンまたは本体の▶ボタンを押すと、画像が90度右に、◀ボタンを押すと90度左に回転します。
- 画像の反転……スライドショーの最中にリモコンまたは本体の▲ボタンを押すと、画像が上下に反転し、▼ボタンを押すと左右に反転します。

※スライドショーの最中にメニューボタンを押すとメニュー画面に戻ります。
※すべてのファイルやメディアの再生を保証するものではありません。

- 画像は16:9サイズの横長での再生となります。
- ファイルやフォルダの順序は撮影順やペースト順等にはなりません。

外部メディアを使う

CDからUSB,SDに録音する

■本機ではMP3/WMAファイル形式のディスク、市販の音楽CDからの録音ができます。

- ※USBまたはSDに空き容量がないと「Device FULL」と表示され、記録できません。
- ※録音中、本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- ※容量の大きいメモリーを接続した時は、読み込みに多少時間がかかることがあります。
- ※本機ではフォルダ名やファイル名の入力はありません。

- 重要なデータは必ずバックアップ保存しておいてください。
- 本機で録音した場合は、MP3で記録されます。

録音手順

1. USBまたはSDを専用端子に挿入して下さい。
2. CDディスクを再生してください。

リモコンの「字幕」ボタンを押すと、録音画面が表示されます。
再生途中でも録音ボタンを押せば、曲の頭から録音できます。

CD 録音			
オプション		トラック	
①	速度	標準	track01 04:30
②	ビットレート	128Kbps	track02 04:03
③	ID3 情報	はい	track03 02:44
④	メディア	SD	track0 03:26
録音情報			
⑤	選択	トラック	0
⑥	選択	時間	00:00
スタート		終了	すべて選択
			選択なし

⑦

<録音画面>

3. 「上下左右」方向ボタンで、項目を移動します。決定ボタンで決定します。

① 録音スピード：「決定」ボタンを押すごとに録音スピードを切替えられます。（標準→高速）

※標準録音スピード状態では、ファイルを録音する同時に再生します。

倍速録音スピード状態では、録音する時、同時に再生できません。

② ビットレート（圧縮率）：「決定」ボタンを押すごとに圧縮率が切替えられます。



※この数値が大きいほど、音質はよくなりますが変換後のファイルサイズは大きくなります。

- ③ ID3 TAG 式ファイルを作成します。
- ④ 録音先メディアの検出状態を表示します。
- ⑤ 選択されたファイル総数
- ⑥ 選択されたファイルの総再生時間
- ⑦ トラックリスト

外部メディアを使う

メディア・ファイルについて

■写真再生・音楽再生・動画再生について

- 写真再生は、JPEG 形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。他の画像形式のファイルや「.bmp」、「.tif」などの異なる拡張子が付いたファイルは再生できません。

※JPEG とは、静止画像のデジタルデータを圧縮する方式のひとつで、JPEG ファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを言います。

- 画像ファイルサイズ又はファイル構造により、ディスプレイに表示されるまで時間がかかることがあります。
- デジタル著作権管理 (DRM) されたファイルは再生できません。

※DRMとは、デジタルデータとして表現されたコンテンツの著作権を保護し、その利用や複製を制御・制限する技術の総称を言います。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術などが有名ですが、広義には画像ファイルの電子透かしなども DRM に含まれます。

- 音楽再生は、MP3/ WMA (DRM 非対応) 形式のファイルをパソコンから転送時に専用ソフトを使って独自の暗号化 (著作権保護) を施すもので、使用されるファイルを入れた USB メモリや SD カードは本製品では再生できません。

※アップル製「i Pod シリーズ」、ソニー製「ウォークマンシリーズ」、パナソニック製「D- snap オーディオシリーズ」、ビクター製「アルネオシリーズ」など

- MP3/ WMA 形式ファイルは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- 動画再生は、MPEG2/ MPEG4 の対応形式のファイルでも、すべての再生を保証するものではありません。記録条件や記録状況によっては再生できない場合があります。
- MPEG-4 (AVC 形式) のファイルは再生できません。
- データ名、ファイル名の表示は英数字のみに対応しています。日本語データ等は正しく表示されません。

■SD カード・USB メモリについて

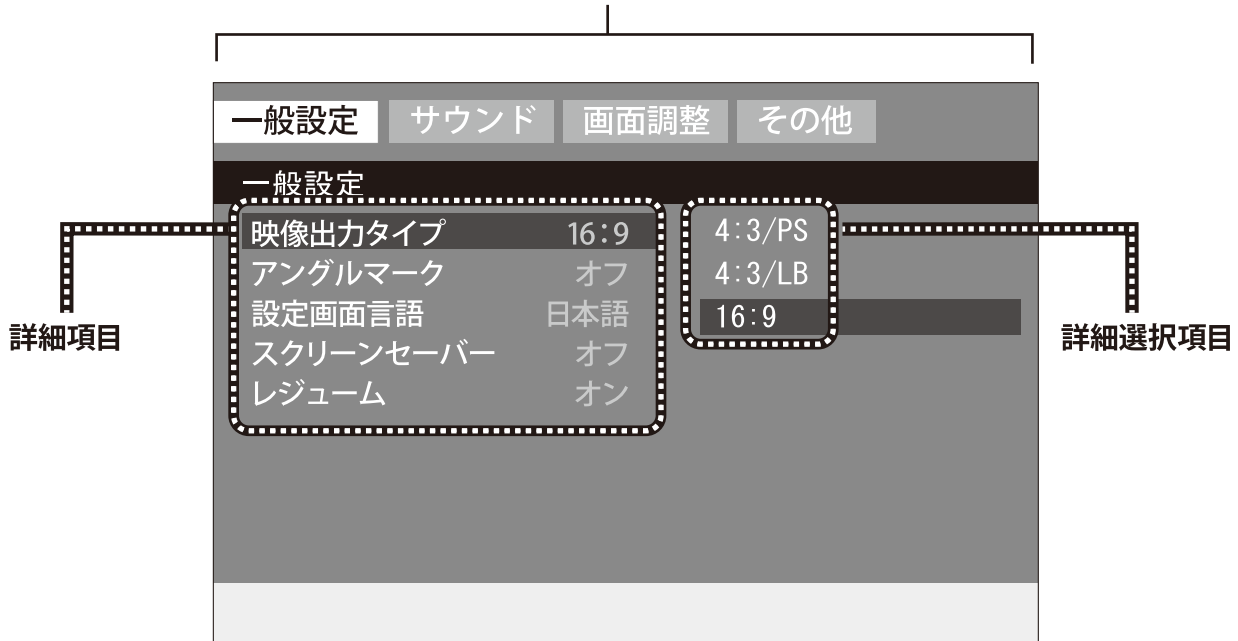
- すべての USB メモリ及び SD カードについての動作保証はしていません。
- 容量 8GB を超える USB メモリは動作保証していません。
- 容量 32GB を超える SD カードは動作保証していません。
- SD カード、USB メモリは、記録された順序で再生できないことがあります。すまた、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- アップル社製機種で編集された USB メモリ、SD カードには対応していません。

機能設定

機能設定 / DVDモードのオープニング画面時

■本機では、画質や音声など、各種詳細項目を設定することができます。必要に応じて変更してください。

設定ページアイコン（左から：一般設定 / サウンド / 画面調整 / その他※）



<機能設定ページ>

※DVDディスクを読み込んだ状態で「その他」は選択できません。

設定の手順

1. リモコンまたは本体の設定ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。
2. 設定ページ→ 詳細項目→ 詳細選択項目の順に選択、決定していきます。
3. リモコンまたは本体の方向キーを押して、設定を変更したいページや項目を選択をし、決定ボタンを押して決定します。
4. 設定ボタンを押して、設定を終了します。

設定項目

設定項目は下記の通りです。

設定ページ	詳細項目
一般設定	映像出力タイプ／アングルマーク／設定画面言語／ スクリーンセーバー／レジューム
サウンド	デュアルモノラル／ダイナミックレンジ
画面調整	鮮明度／明るさ／コントラスト／彩度／色調
その他	PBC (プレイバックコントロール)／音声設定／ 字幕設定／メニュー言語／視聴制限／ パスワード設定／設定初期化

一般設定

※初期設定は※印の設定になります

■映像出力タイプ (画面のサイズ・比率の設定)

1. 4:3/PS (パンスキャン)
2. 4:3/LB (レターボックス)
3. 16:9 (ワイド) ※

■アングルマーク

1. オン ※
2. オフ

■設定画面言語

1. 英語
2. 日本語 ※

■スクリーンセーバー

1. オン ※
2. オフ

■レジューム

1. オン
2. オフ ※

サウンド設定

■デュアルモノラル

1. ステレオ ※
2. モノラル左
3. モノラル右
4. ミックスモノラル

■ダイナミックレンジ

1. FULL ※ ～3/4 ～2 ～1/4 ～OFF

機能設定

画面調整

■鮮明度

1. 高
2. 中※
3. 低

■明るさ

- ※ 00
-16~+16

■コントラスト

- ※00
-16~+16

■彩度

- ※ 00
-9~+9

■色調

- ※ 00
-9~+9

その他

■PBC (再生プログラムの入ったビデオ CD や DVD で使用します)

1. オン※
2. オフ

■音声設定 (再生時の音声の設定)

- | | | | |
|----------|-----------|---------|---------|
| 1. フランス語 | 2. スペイン語 | 3. 中国語 | 4. 日本語※ |
| 5. 韓国語 | 6. ポルトガル語 | 7. ロシア語 | 8. タイ語 |
| 9. 英語 | | | |

■字幕設定 (再生時の字幕の設定)

- | | | | |
|----------|----------|-----------|---------|
| 1. 英語 | 2. フランス語 | 3. スペイン語 | 4. 中国語 |
| 5. 日本語 ※ | 6. 韓国語 | 7. ポルトガル語 | 8. ロシア語 |
| 9. タイ語 | 10. オフ | | |

■メニュー言語 (ディスクメニュー画面の言語の設定)

- | | | | |
|----------|----------|-----------|---------|
| 1. 英語 | 2. フランス語 | 3. スペイン語 | 4. 中国語 |
| 5. 日本語 ※ | 6. 韓国語 | 7. ポルトガル語 | 8. ロシア語 |
| 9. タイ語 | | | |

■視聴制限

- | | | | |
|-------------|-------------|-----------|-------------|
| 1. KID SAFE | 2. G (一般向け) | 3. P G-G | 4. P G - 13 |
| 5. P G-R | 6. R (R 指定) | 7. N C-17 | 8. 無制限※ |

■パスワード

※初期設定は"1111"です。 変更 ※パスワード変更ができます。

■定初期化 (視聴制限以外の設定が工場出荷時の設定になります)

実行※リセット

デジタル放送の視聴

ご視聴前の準備

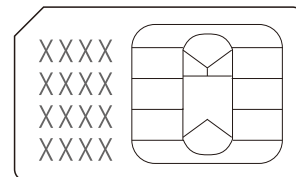
※地上デジタル放送の受信には、本機にminiB-CASカード（付属）の常時挿入が必要です。
※本機にminiB-CASカードを挿入されていない場合は、地上デジタル放送の視聴はできません。

mini B-CAS カードを挿入する

miniB-CASカード



ラベル側（表）



端子側（裏）

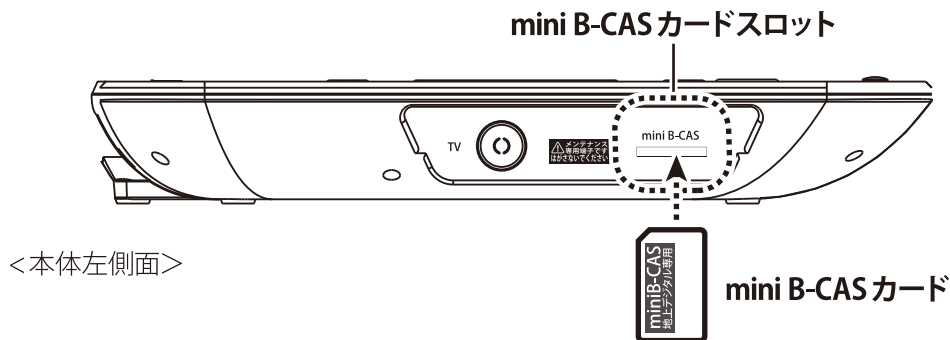
※ACアダプターが接続されていない状態で行ってください。
※SDカードスロットには、miniB-CASカードを入れないでください。取り出せなくなります。
※miniB-CASカードスロットには、miniB-CASカード以外は絶対に挿入しないでください。
※BS・CS・地上共用のmini B-CASカードが付属されている場合でも、BS・CS放送は受信できません。

■挿入方法／取り出し方

■ miniB-CASカードを、本体側面のminiB-CASカードスロットにラベル側が上方へ向くようにして「カチッ」と音になる奥までまっすぐに押し込んでください。

■ miniB-CASカードを取り出す際は、カードの中央部を押し、まっすぐに引き出してください。

※ miniB-CASカードの挿入／取出しをする時、は急に指を離さないでください。



※miniB-CASカードの取り扱いにつきまして詳しくは、miniB-CASカードの封入用紙をご覧ください。
※miniB-CASカードの故障、破損、紛失などの際は下記にお問い合わせください。
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ B-CASカスタマーセンター
TEL : 0570-000-250

デジタル放送の視聴

地デジ放送受信用アンテナを接続する

※本機で地上デジタル放送を視聴する際は、地デジ放送受信用アンテナとの接続が必要です。
(室内用アンテナや付属の簡易アンテナなど)

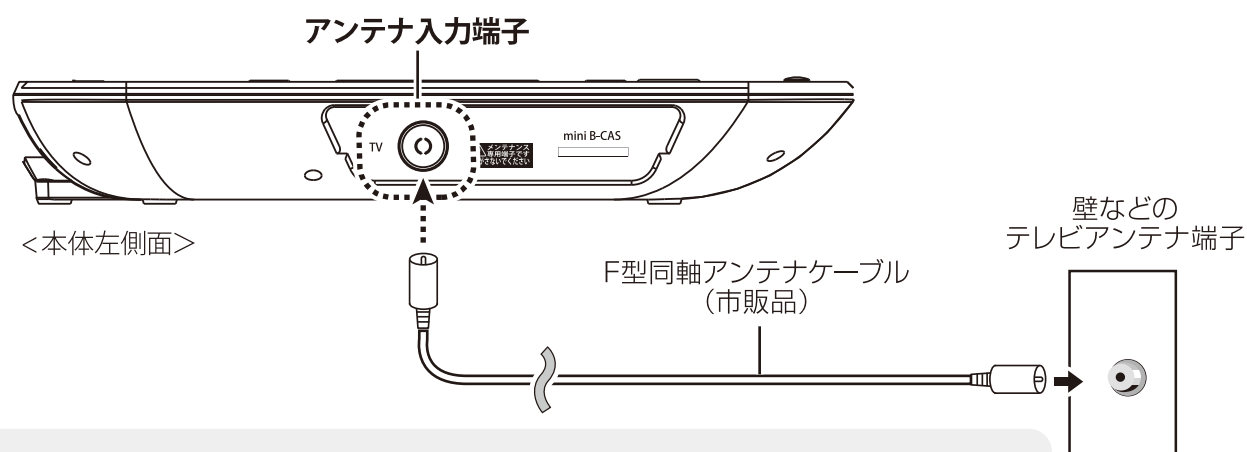
屋内で地デジ放送を視聴するとき

※屋内などで地デジ放送をご視聴される場合、室内用アンテナ(市販品等)などと接続してください。
下記はTVアンテナが室内に引き込まれている場合の接続方法の記載例です。

○ ご用意いただくもの

- ・F型同軸アンテナケーブル(市販品等)

※お部屋の設置場所により必要な長さを測り電気店などで
お買い求めください。



※接続作業は本機の主電源を切に行ってください。
※市販されている汎用アンテナケーブルFの型コネクタの形状は、ネジタイプと
差し込みタイプがあります。コネクタの形状に合わせて接続してください。

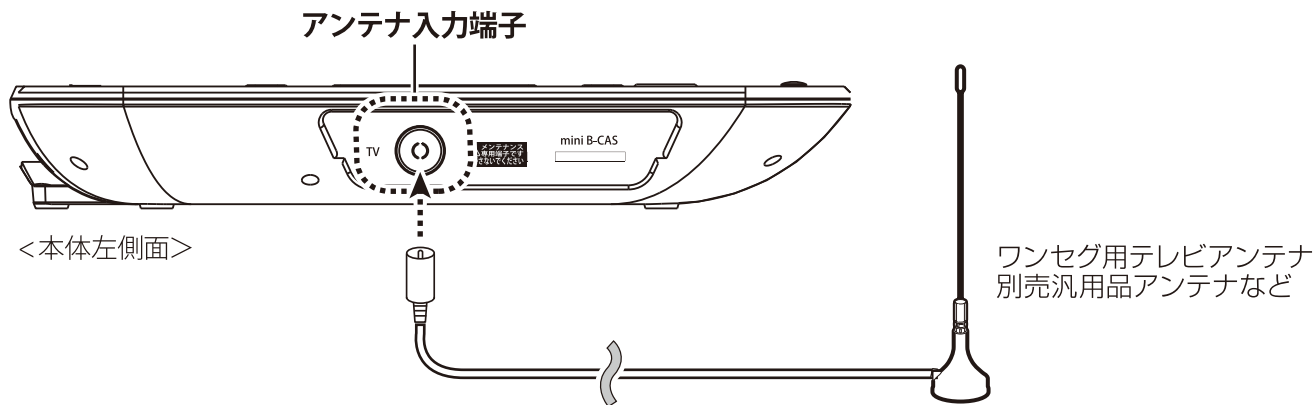
- ※屋内で地デジ放送を受信する場合は室内用の地デジ受信アンテナ(市販品等)などと接続してください。
- ※地域や場所、周辺環境により受信状態が悪くなったり全く受信できないことがあります。
- ※簡易アンテナで地デジ放送を視聴される場合、受信できない場所や受信が不安定になる場所があります。
- ※UHFアンテナが設置されていても、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向の修正が必要になる場合があります。
- ※アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となる場合があります。
- ※UHFアンテナは定期的に点検してください。屋外設置の場合、傷みなどで受信力が低下する場合があります。
- ※地上デジタル放送は一般的にUHFアンテナで受信しますが、CATV(ケーブルテレビ)で伝送される場合や共聴システムで伝送される場合もあります。詳しくは共聴システム管理者(マンション管理者や管理組合など)やお住いの地域のケーブルテレビ会社にお問合ください。
- ※混合器・分波器・分岐器・ブースターなどを使用する場合、は地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものをお選びください。

デジタル放送の視聴

簡易アンテナで地デジ放送を視聴するとき

○ ご用意いただくもの

- ・ 付属簡易アンテナや車載用ブースター内蔵アンテナ（市販品等）など



- ※接続作業は本機の主電源を切に行ってください。
- ※付属の簡易アンテナはF型のコネクタ形状タイプを採用しております。
- ※別売汎用品の車載用アンテナなどをご使用される場合は、アンテナ接続部分の形状をご確認ください。

※製品に付属されているアンテナは簡易的なもので室内用アンテナやブースター内蔵アンテナなどと比較すると受信力が低いため、特に屋内や移動時では電波が受信できない場合があります。この際は市販の汎用品アンテナをご用意の上、本機と接続してご使用ください。

- ※屋内で地デジ放送を受信する場合は室内用の地デジ受信アンテナ（市販品等）と接続してください。
- ※地域や場所、周辺環境により受信状態が悪くなったり全く受信できないことがあります。
- ※簡易アンテナで地デジ放送を視聴される場合、受信できない場所や受信が不安定になる場所があります。
- ※UHFアンテナが設置されていても、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向の修正が必要になる場合があります。
- ※アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となる場合があります。
- ※UHFアンテナは定期的に点検してください。屋外設置の場合、傷みなどで受信力が低下する場合があります。
- ※地上デジタル放送は一般的にUHFアンテナで受信しますが、CATV（ケーブルテレビ）で伝送される場合や共聴システムで伝送される場合もあります。詳しくは共聴システム管理者（マンション管理者や管理組合など）やお住いの地域のケーブルテレビ会社にお問合せください。
- ※混合器・分波器・分岐器・ブースターなどを使用する場合は、地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものをお選びください。

デジタル放送の視聴

地上デジタル放送を視聴する

■ テレビ放送画面への切り替え・視聴・操作・設定は付属のリモコンを使用すると便利です。以下は主にリモコンを使用して操作・設定する方法を説明します。

テレビ画面への切替え

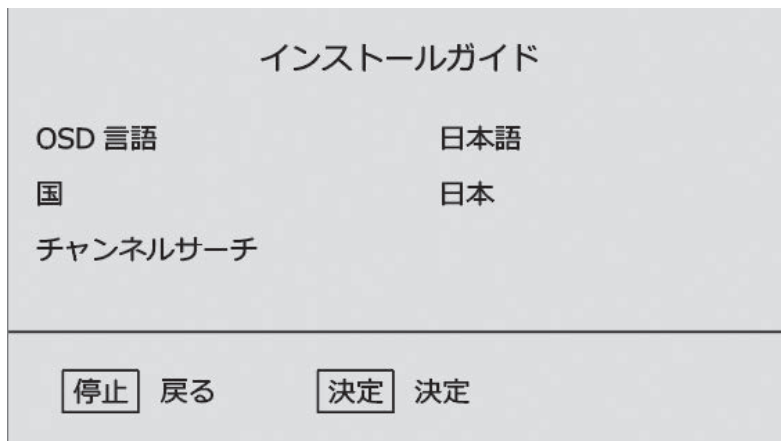
本体またはリモコンの機能切替ボタンを押すと「DVD」→「TV」→「AV」の順に切り替わります。「TV」を選択するとモニターに [Loading...] の画面が表示されます (数秒後に消えます)。

放送局を本機に設定・登録する

本機ではじめて地上デジタル放送を受信する時や、設置場所を移動して受信放送局 (電波地域) が変わった時は、本機にご使用地域の放送局チャンネルを登録する必要があります。以下の順に登録作業を行ってください。

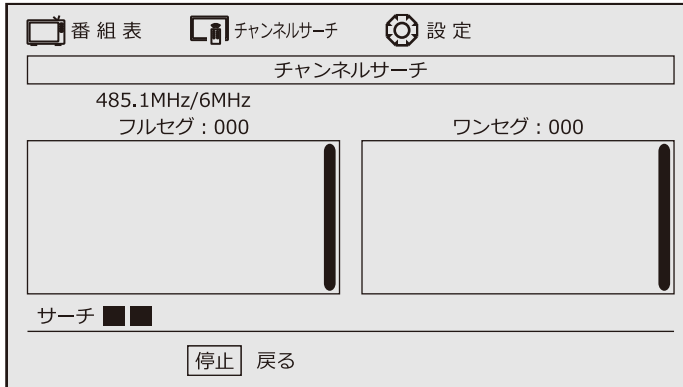
※ 製品に付属されているワンセグ用テレビアンテナは屋外用の簡易アンテナです。チャンネル局数の登録漏れなどを防ぐため、初期チャンネル登録設定の作業を行う際は、室内用アンテナと接続し、設定・登録をしてください。(アンテナとの接続方法はP.34をご参照ください)

1. 本機の主電源が切の状態です。「mini B-CASカード」「地デジ受信用アンテナ」をそれぞれ正しくセットします。
2. 本機右側面の主電源をONにします。
3. リモコン上部の機能切替ボタンを押して「TV」モードに切り替えます。
4. 初期起動時は下記の画面が表示されます。OSD言語／国が「日本」であることを確認して、リモコンの決定ボタンを押します。

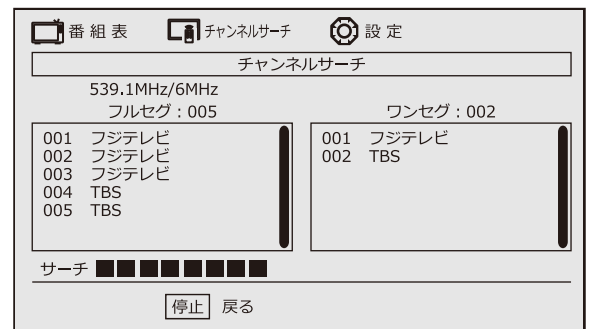


デジタル放送の視聴

5. 下記画面に切り換わりチャンネル自動検索 (チャンネルサーチ) が始まります。電波を受信／登録できる周波数帯を全て検索する為、暫く時間がかかります。



※本機と接続したアンテナが電波を受信し、登録できたチャンネルは下図のようにフルセグ／ワンセグの項目に追加されていきます。

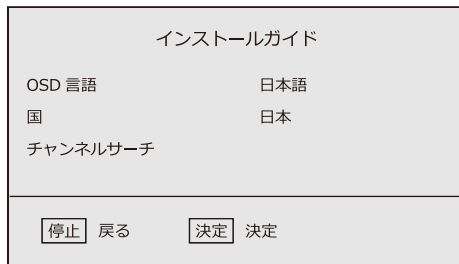


本機に番組が登録された場合



※チャンネルサーチ終了後、番組の登録が成功すると、登録された番組が表示されます。電波の受信レベルに応じてフルセグ放送及びワンセグ放送のいずれかが表示されます。

番組登録に失敗した場合



※初期設定時で電波を受信できずにチャンネル登録が失敗した場合、上記画面 (インストールガイド) に戻ります。下記をご確認の上、再度チャンネルスキャンを行なってください。

- *本機に正しく B-CAS カードが挿入されていますか？
- *本機と接続しているアンテナが地デジ放送の電波を受信できていますか？ (アンテナの設置位置などをご確認ください)



P.38をご参照ください

※マンション等共同アンテナの使用やケーブルTVをご加入などの場合は本機に直接テレビ信号 (電波) が届いていない場合があります。その場合詳しくは管理者や契約先にお問い合わせください。分波、分配、増波が必要な場合がございます。

デジタル放送の視聴

- ※簡易アンテナなどを使用してチャンネル登録作業を行い、電波を受信できずにチャンネルの登録がされなかった場合、「インストールガイド」画面が表示されます。
この場合、作業を行った時のアンテナの設置場所では電波を受信できていない・または電波が微弱である可能性が高いため、屋外の電波受信の環境が良好な場所（周囲に高層ビルなどが無い開けた場所など）に移動した上で、再度「決定ボタン」を押し、放送局の検索をしてください。
- ※チャンネル局数の登録漏れなどを防ぐため、初期チャンネル登録設定の作業を行う際は室内用アンテナなどとの接続の上、設定・登録してください。

本機の設置場所を移動した場合

転居や長距離移動などで、初期設定した地デジ放送の環境から本機を移動させた場合、再度チャンネルスキャンを行い、移動した地域の放送番組を登録する必要があります。
この場合、本機をTVモードに切り換えた後、リモコンの「USB/SD/サーチ」ボタンを押すと、自動でチャンネルスキャンが始まります。



- ※チャンネル検索を行う毎に、先に登録されていたチャンネルは上書きされていきます。先に登録されていたチャンネルデータの保存はできませんので、ご注意ください。
- ※アンテナの設置状況や簡易アンテナなどとの接続により電波状況が悪い場合、映像や音声が多まったり乱れたりする場合があります。その際はアンテナの設置環境などを変えて再度お試しください。
- ※本機は自動受信に設定されている時、地上デジタル放送（フルセグ）受信が優先設定になっています。受信状況が不安定になると自動的にワンセグ放送に切り替わります。その際、一時的に映像・音声がフリーズ状態になりますが故障ではありません。

デジタル放送の視聴

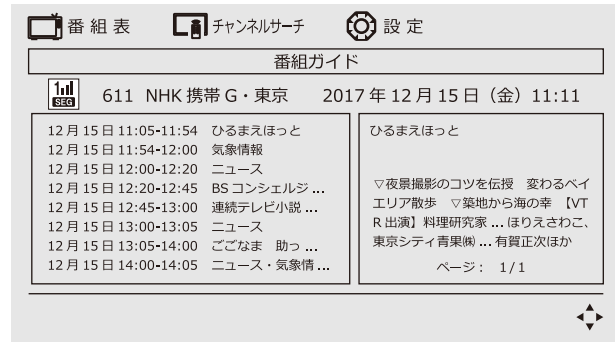
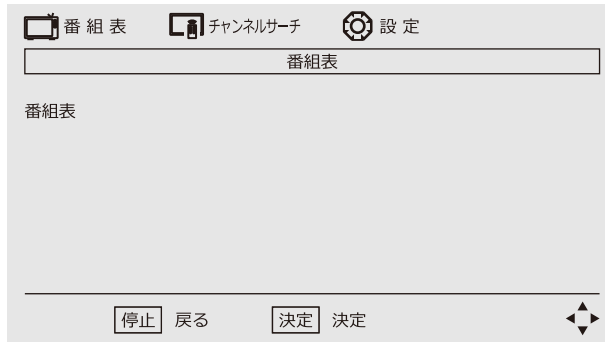
■ **お好みでテレビ視聴時の各種設定を変更／調整いただけます。**

● **リモコンの「メニュー」ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。**

「◀▶▲▼」ボタンで設定したい項目にタグを移動して「決定」ボタンを押します。

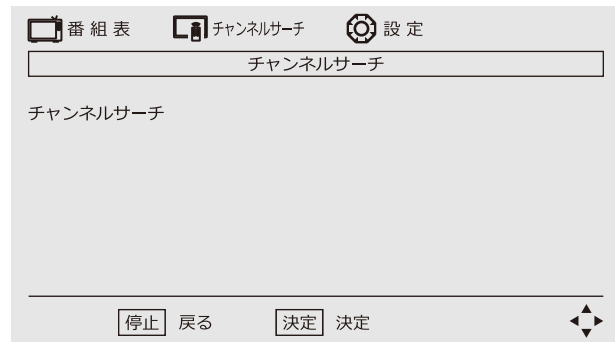
○ **【番組表】を選択すると視聴中の番組の番組表が表示されます。**

(番組視聴中にリモコンの「プログラム/EPG」ボタンを押しても番組表が表示されます)



○ **【チャンネルサーチ】を選択するとチャンネル自動検索を開始します。**

(リモコンの「USB/SD/サーチ」ボタンを押しても自動検索を行えます)



○ **【設定】を選択すると地デジ放送視聴時の各種設定を変更／調整できます。**

• **解像度／解像度を変更します**
(480i / 480p / 720p / 1080i / 1080p)

※初期値は 1080p

• **受信切替／受信方法を変更します**
(自動／ワンセグ／フルセグ)※初期値は自動)

• **工場出荷時設定／工場出荷時の初期設定に戻します** ([決定]:スタート／[停止]:戻る)

※工場出荷時状態に戻すとお客様が登録した情報は全て消去されます。

• **デバイス情報／本機システム情報を表示します**

• **ファームウェア更新 (※メンテナンス・サポート用に付き、通常お客様は使用しません)**



デジタル放送の視聴

リモコンの主な基本操作

1. チャンネルを選択する
「CH▲」「CH▼」ボタンを押します。
2. 音量を調整する
「音量+」「音量-」ボタンを押します。
3. 音声多重切替え(放送番組や内容により非対応の場合があります)
ステレオ音声で二ヶ国語を切替えます。
リモコンの「音声」ボタンを押します。
※放送内容や番組によって無効になる場合があります。
4. 字幕放送(放送番組や内容により非対応の場合があります)
デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなどが表示されます。
リモコンの「字幕」ボタンを押します。
5. 番組表
番組の情報が表示されます。
1)リモコンの「EPG」ボタンを押します。
2)リモコンの「▲」「▼」ボタンで番組を選ぶと右側の窓に番組情報が表示されます。
番組情報のページを変える時はリモコンの「◀」「▶」ボタンを押します。
3)リモコンの「停止」ボタンを押すと前の画面に戻ります。
6. 受信状況確認
リモコンの「設定」ボタンを押すと、受信中の本機の状態などをご確認いただけます。
1)リモコンの「設定」ボタンを1度押すと右上に受信中のチャンネル番号／下部に帯で受信中の番組名などが表示されます。
(※チャンネル番号や帯状の表示は暫くすると消えます)
2)リモコンの「設定」ボタンを2度押すと受信中の放送番組の詳細やアンテナ受信レベルなどが表示されます。
(ワンセグ放送受信中は番組情報は表示されずスキャン中と表示されます)
3)リモコンの「停止」ボタンを押すとチェックしたテレビチャンネルに戻ります。



音量



音声



字幕



プログラム



停止



設定



停止



デジタル放送の視聴

本体設定

■液晶画面の表示アスペクト比や解像度、ワンセグ／フルセグの受信の優先度などをお好みの状態に変更できます。

メニュー



停止



※こんな症状の時は…(画面がチラつく・映像が止まる・音しか出ない・etc)
番組を視聴中、「映像が止まる」「音が出ない」「音声が途切れる」など、受信が安定しない場合や受信できない場合は下記事項をご確認ください。

■電波の受信レベルをご確認ください

- TV番組を視聴(受信)中に、リモコンの「設定」ボタンを2度押すと、下記のような画面が表示されます。受信レベルが安定しているかをご確認ください



- 受信レベルが低い状態(約20%以下)の場合、番組を安定して視聴できない場合があります。簡易アンテナなどを使用して視聴している場合は受信レベルが30%以上で安定する場所に簡易アンテナなどを設置してください。(※推奨受信レベル:50%以上)
- フルセグ受信レベルが低い場所をご利用されると自動でワンセグ受信に切り換わる為、フルセグ⇄ワンセグの切替時に都度画面がフリーズなどを起こす場合があります。この場合、受信切替をワンセグに変更することでワンセグ受信に固定されます。(リモコン「メニュー」→「◀▶」で設定に移動→「決定」→「▲▼」で受信切替に移動して「ワンセグ」を選択→「決定」)※初期値は「自動」に設定されています

※アンテナが正しく接続されていない場合、受信／視聴はできません。

※建造物、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔の無い地域、地形、強力な電波を発信する施設の周辺、電波障害を受けやすい場所、など電波の受信に影響が出やすい場所では、受信できない場合があります。

※デジタル放送では受信レベルが下がると、映像が止まる、ブロックノイズが出る、音しか出ない、音声が途切れる、などの症状が起こる場合があります。また、移動中に受信している場合は、静止中の受信に比べ受信範囲が狭くなるため、正しく受信出来ない場合があります。

※次の放送は受信／視聴できません。<BS/CS放送> <データ放送> <緊急警報放送>

※その他の症状が起きた場合は、本書巻末のトラブルシューティングをご参照ください。

トラブルシューティング

症状	原因／解決方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ▶電源プラグを正しくコンセントへ差し込んでください ▶各種電源接続を確認してください ▶充電機に充電してください
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ▶リモコンと本機の間には障害物がないかご確認ください ▶リモコンの向きを本機の受光部に正しく向けて操作してください ▶リモコンの電池が消耗している場合、電池を交換してください
画面が暗いまま	▶液晶画面オフ設定になっていないかご確認ください
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ▶音量が最小になっていないかご確認ください ▶消音（ミュート）機能を使用していないかご確認ください ▶イヤホンなどをご使用の場合は正しく接続されているかご確認ください
画面が暗い・色合いがおかしい	▶設定ページから各種設定を調整してください
画面に斑点が映る・色の縞がでる 音声がかかるなど	▶高圧線や自動車、ネオン、電機製品からの電波・磁場障害が起きている可能性があります。本機を電波・磁場の影響を受けない場所に移動して設置してください
CD・DVD・メディア再生	
ディスクの読み取り・再生ができない 「不明なディスク」と表示されるなど	<ul style="list-style-type: none"> ▶ディスクが損傷または汚れている可能性があるため、ディスクを換えるか、またはディスクをクリーニングしてください ▶ディスクが正しくセットされているか確認してください ▶DVD・TV・AVなどのモードが正しいかご確認ください ▶本機対応のディスク・データであるかご確認ください (DVDのリージョンコードは2番です) ▶外部機器などをご使用の場合は正しく接続されているかご確認ください
DVDレコーダーで記録したDVD-Rディスクが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ▶ビデオモードまたはCPRM形式で録画したDVD-Rディスクを本機で再生するには、ファイナライズ処理が必要です ▶ディスク記録時の安定度・状況・環境により、再生できない場合があります ▶録画されたDVDレコーダーとディスクと本機との相性により再生できない場合もあります ▶パソコンにて録画されたディスク、DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスク、短い収録時間のディスクでは再生できない場合もあります
再生中に電源が落ちる	▶2層式記録ディスク再生折返し部分の仕様による場合があります。電源が落ちたチャプターの次のチャプターから再生できる場合がありますので、チャプター選択画面から指定して再生を続けて下さい。

トラブルシューティング

症状	原因／解決方法
再生中、一時的に映像が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ▶再生しているディスクにキズや汚れがある可能性があります 本書「はじめに」記載のディスクの取扱い方をご参照下さい ▶外部メディアの場合、保存データが破損・欠損している場合があります
外部メディア (SD/USB など) の再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> ▶本機に正しく接続・挿入されているかご確認ください ▶本機非対応のデータである可能性があります ▶本機と外部メディアとの互換性・相性により再生できない場合があります 記録メディアを変えてお試しください。
CD が正しく再生されない	▶コピーコントロール CD の可能性があります。この場合、データ通りに再生順序が再生されない場合があります
トラックの順序・選曲ができない	▶ディスク・USB メモリー・SD カードによっては、部分的に設定された再生順序を変更できないものがあります
地デジテレビ視聴	
外部メディア (SD/USB など) の再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> ▶アンテナが正しく接続されているかご確認ください ▶フルセグ受信機の場合、mini B-CAS カードが正しく挿入されているかご確認ください ▶TV モード画面に切換えられているかご確認ください ▶初期設定でチャンネル登録がされているかご確認ください
	▶デジタル放送特有の現象です。デジタルデータの受信形式のため、受信してから映像化されるまでの時差によって数秒程度ズレる場合があります
地デジテレビ視聴	
	<ul style="list-style-type: none"> ▶本機の主電源を手動で切り、AC アダプターを電源コンセントから抜き 2～3 時間放置して、静電気などを放電してください。その後、再度本機を設置してください。 (本機をご使用されない時は AC アダプターはコンセントから外してください)

トラブルシューティング(補足)

液晶パネルについて

※液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

ブロックノイズについて

※DVDプレーヤーの演算処理能力を超えるとときにブロックノイズが発生する場合があります。

ブロックノイズはDVDの映像記録方式(MPEG)の性質上、完全に除去することは非常に困難です。

また、DVDディスクの記録面に傷や汚れがある場合、またはピックアップレンズが汚れている場合にもブロックノイズが発生します。ディスクやレンズの汚れは市販のディスククリーナーやレンズクリーナーを使用して対応していただけますようお願い致します。

コピーコントロールCDについて

※CCCD(コピーガード付きCD)は、CDの標準規格に合致しませんので、弊社では再生保証を致しかねます。

※CCCDの再生に支障がある場合はお手数ですが、ディスクの発売元にお問い合わせいただけますよう、お願いいたします。

※標準規格外のディスクを再生し、その結果故障や不具合が発生した場合は保証期間内でも有償修理になります。何卒ご了承ください。

お手入れについて

※レンズにゴミやほこりがたまると、ディスクを正しく読み取れず、音飛びや画像の乱れ、再生できないなどの症状が起る場合があります。このような場合は、市販のレンズクリーナーをご使用して汚れを取り除いてください。

※結露が発生した場合、ディスクを本機にセットすると、ピックアップレンズやディスクに水滴がつくことにより、ディスクを正しく読み取れず、正常に動作しないことがあります。本機をよく乾燥させた状態でご使用ください。

結露が発生してしまった場合、は本機の電源を入れたまま、最低2時間は乾燥のために放置してください。

※本体のお手入れ方法

柔らかい布で乾拭きをしてください。汚れがひどい場合、は中性洗剤を水で5~6倍に薄めて布に浸し、よく絞った後に汚れを拭きとってください。その後、必ず乾いた布で再度本体を拭いてください。アルコールやシンナーなどが付着すると、塗装や印刷がはげたりケースが変形したりする恐れがありますのでご注意ください。

お手入れの際は必ずアダプターをコンセントから抜き、本体の主電源をOFFにしてから拭いてください。

その他

※製品を廃棄する場合、各自治体により取り扱いが異なります。お住いの自治体の指示に従ってください。

免責について

※お客様または第三者が本製品の誤使用または使用中に生じた故障、またその他の不具合等を含め、本製品の使用によって受けられた損害については法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責を負いません。

※当社が関与しない各種機器との組み合わせによる誤作動から生じた損害に関しまして、当社は一切その責を負いません。

※本取扱説明書の記載を守らないことによる損害や事故に関しまして、当社は一切その責を負いません。

あらかじめご了承ください。

■故障かな?と思ったら

アフターサービスについて

修理を依頼される前に P33～P35 の「故障かな?と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。確認しても症状が改善されない場合は、お買い上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。

■アフターサービスについて

保証書を必ずご確認ください

製品に付属しております保証書については、必ず「お買い上げ日」と「販売店名」の記入があることを確かめてからお買い上げ店よりお受け取りください。

また、内容をよくお読みのうえ、製造番号と製品本体裏面の製造番号をお確かめいただき、大切に保管してください。保証期間はご購入日から 1 年間です。

保証書を紛失された場合や保証書に「お買い上げ日」と「販売店名」の記入がない場合は保証の対象外となります。ご了承ください。

修理をご依頼される場合

- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理させていただきます。
- 保証対象品は本体のみとさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる場合、ご希望により有償にて修理させていただきます。
- 有償・無償に関わらず、修理の際にパーツが変更されることがあります。
- 液晶画面のドット抜けは保証対象外となります。
- 新品と交換した際は一回限りとなります。以降の修理に関しては有償となります。

<修理を依頼される時にご準備いただきたい内容>

- ・ご住所／ご氏名／お電話番号
- ・製品名／品番／お買い上げ日／お買い上げ店
- ・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

本製品に関するお問い合わせおよび修理に関するお問い合わせ

ネクシオン サポートセンター

TEL.0570-022-336

<受付時間> 10:00～17:00（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く）

<住所> 〒339-0072 埼玉県さいたま市岩槻区古ヶ場2-7-9篠崎運輸 古ヶ場センター内

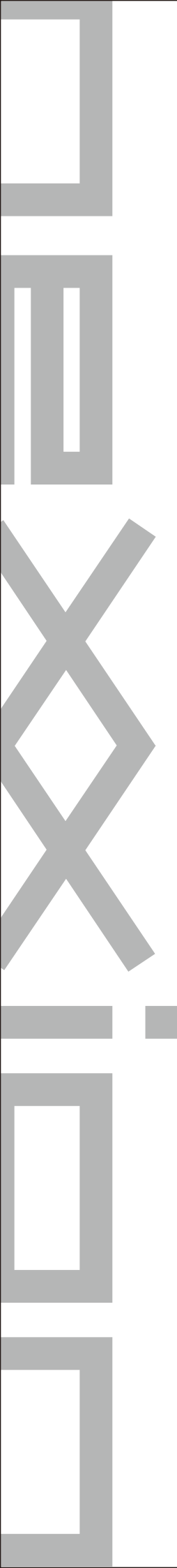
<E-mail> support@nexxion.jp

- 本製品ならびに本書は、改善の為予告なく変更する場合がございます。
- 本書の内容の一部、または全ての無断転載を禁じます。
- 本製品の仕様、故障によって生じた直接、間接の損害につきましては当社はその責任を負わないものとします。
- 本書に乱丁、落丁があった場合は、お取り換え致します。販売店、またはサポートセンターにご連絡ください。

品名	10.1インチ液晶 フルセグ ポータブルDVDプレーヤー
型番(本体色)	FV-P101FW(ホワイト)
JANコード	4589684381460
パネル仕様	10.1inch ※1 TFT液晶 LEDバックライト
電源	ACアダプター:入力AC100-240V 50/60Hz 出力DC12V/1.5A
	カーアダプター:DC12V
	内蔵充電電池:7.4V 1500mAh
充電時間/動作時間	(約)4時間/最大(約)1.5時間 ※ご使用の環境により異なる場合があります。
消費電力	18W
スピーカー出力	1.5W×2
入出力端子	AV入力端子(1)、AV出力端子(1)、φ3.5mmステレオミニジャック(1)、アンテナ入力端子(1)
テレビ信号方式	NTSC/PAL (自動)
カードスロット	SD / SDHC (最大32GB)
USBポート	USB2.0 平型TypeA
再生対応メディア	CD-DA、CD-R、CD-RW、DVD、DVD+/-R、DVD+/-RW、
	USB2.0、SD/SDHC(最大32GB)
再生対応ファイルフォーマット	動画:MPEG1、MPEG2、AVI、CPRM
	音声:CD digital audio(PCM)、MP3
	画像:JPG
動作環境	温度 0~40℃ (結露なきこと) / 湿度 20~75% (結露なきこと)
本体寸法	ディスプレイオープン時:約275 (W) ×202 (D) ×231 (H)
	収納時:約275 (W) ×202 (D) ×43 (H) mm
本体質量	約 990g
付属品	ACアダプター(1)、12V車専用カーアダプター(1)、mini B-CASカード (1)、
	リモコン※ボタン電池CR2025含む (1)、AVケーブル (1)、
	ワンセグ用テレビアンテナ(1)、車載用バッグ(1)、取扱説明書 (1)、保証書(1)
	ACアダプター 約150cm / カーアダプター 約170cm
原産国	中国

※1 ディスプレイの型は画面寸法を表すものではなく、有効画面の外形体格寸法を基準とした大きさの目安です。

※製品改善の為予告なく外観、仕様を変更する場合がありますので、ご了承ください。



発売元：株式会社 Freedom
©2018 FREEDOM CO., LTD. All right reserved.